

福岡和白病院脳神経外科で頸動脈狭窄症に対して 頸動脈ステント留置術を受けられた患者様へ

当院脳神経外科では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。

また、この研究は当院の臨床研究審査委員会の審査を受け、病院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	7-フレンチの細径のバルンガイディングカテーテルによる頸動脈ステント留置術
当院の研究責任者（所属）	脳神経外科 原田 啓
本研究の目的	頸動脈ステント留置術で、7-フレンチの細径のバルンガイディングカテーテル（Optimo、東海メディカルプロダクツ）を用いて行った。その臨床成績を英文誌に報告する。
調査データ該当期間	西暦2020年4月1日～西暦2024年12月31日
研究方法	<p>●調査の対象となる患者様● 頸動脈狭窄症でステント留置術を受けた患者様</p> <p>●使用するカルテ情報● ①臨床所見：神経症状 ②血液所見：脂質、HbA1c ③画像所見：脳血管造影データ、術後のMRI ④術後1カ月の神経症状</p> <p>●試料や情報の管理● 情報は、研究代表者が適切に保管・管理します。</p>
個人情報の取り扱い	研究に利用する試料や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。当院の研究責任者は、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける情報も含めて、責任をもって適切に管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。
本研究の資金源・利益相反 [※] について <small>※外部との経済的な利益関係等によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないと第三者から懸念されかねない事態のこと。</small>	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	福岡和白病院 脳神経外科 電話：092-608-0001（代表） 研究責任者：原田 啓